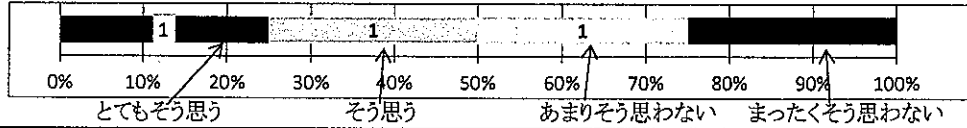


児童アンケート集計結果

令和5年7月実施

凡例

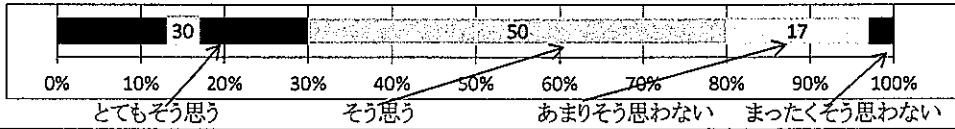


評価項目	回答別割合 (%)	平均 4段	分析
1 学校や学級は楽しいですか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.6	97%の児童が「学校や学級が楽しい」と答えています。今後とも、特別活動や学校行事を充実させて、のぞましい人間関係の構築を目指していきます。
2 自分からすすんで、明るいあいさつができていますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.1	ほとんどの児童があいさつの習慣は身に付けており、しっかりとあいさつを返すことができます。しかし、「自ら進んで」というところは、これからの本校の課題があると考えます。
3 授業は、わかりやすく楽しいですか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.4	「学びのたしかめ」「全国学力学習状況調査」「県到達度調査」などの結果は徐々に向上しています。今後は、学力向上推進の取組を強化し、全校体制で学力課題への対応をして参ります。
4 生き物のいのちを大切にしたり、思いやりをもって友達を大事にしていますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.7	学校の道徳教育の取組を推進します。学校の教育目標に命の大切さを中心に取り組んでいます。各学級においても実態に応じて協力、思いやり、等の授業を実践し、児童の心の教育を行います。
5 身の回りの整理整頓や学校・授業のきまり[学習の約束]はきちんと守っていますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.3	「授業の心構え十ヶ条」を基に身構え・物構え・気構えを中心に、学校全体で身の回り整理整頓や学校生活・授業のきまりについて共通理解して取り組んでいます。
6 ふわふわことば[ありがとう・ごめんね・すごいね]をたくさん使っていますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.3	いじめの未然防止、のぞましい人間関係の構築のためにも、他人の心に気遣った言葉の使い方は大事です。ふわふわ言葉等の活用を更に推進していきます。
7 家庭学習を毎日していますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.4	自学ノート等の取組も推進しながら保護者と連携し、「やらされるのではなく、自ら進んで行う」家庭学習を目指し取り組んでいます。
8 早寝・早起き・朝御飯をしっかりと続けていますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.3	家庭において生活の基盤をしっかりと整えることは大切なことです。アンケートの結果は十分とは言えませんが、今後ご家庭と連携した取組を充実させていきます。
9 友達や先生の話を最後まで、しっかりきくことができますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.4	人の話をしっかりと聞ける子は、しっかりと話すこともできるようになります。コミュニケーションの基本となる「聞く力」を授業をはじめとした日々の教育活動の中で身に付けさせていきます。家庭での声かけ、励ましを宜しくお願いします。
10 給食はすきらいせず、楽しく食べていますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.4	アレルギー等、個々の児童の特性に注意を払いながら、生きていく上で最も大切である食の大切さを食育を通して育成します。
11 「いかにおすし」を守っていますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.8	学校において定期的な避難訓練を通して、児童の危機回避能力を高めています。また、「スクリーン」等の学校メールを活用し、不審者情報を発信し、家庭と連携していきます。
12 自分のことが好きですか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.0	自分の良さに気づいたり、それを伸ばしていこうという心を育てます。アンケートの結果から自己肯定感の高まりは十分とは言えませんが、何事も自信を持って取り組める児童の育成をめざします。
13 前日、自分で時間割を調べ、自分で忘れ物がないよう準備できていますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.3	落ち着いた学習し、しっかりと授業に取り組むためには、学習の準備は大切です。今後とも家庭との連携を密にし、協力して粘り強く、子どもたちの凡事徹底を推進していきましょう。
14 将来、どんな仕事をしたいか、夢がありますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.5	学校では「夢紹介」という取組を通して児童の夢を育むキャリア教育や特別活動、総合的な学習の時間に取り組んでいます。今後も取組を継続し、意欲を高めていきます。
15 古蔵小学校は、あなたが通いたい学校になっていますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.5	アンケートの結果より、「学校や学級は楽しい」と答えた児童は94%と高くなっています。今後は、「学ぶことが楽しい」と思える授業づくりに取組み自己肯定感を高める指導に取り組んでいきます。

保護者アンケート集計結果

令和5年 7月実施

凡例



評価項目	回答別割合 (%)	平均 4段	分析
1 学校は児童がよく学び、仲良く助け合う学校をつくっている。		3.2	昨年度はコロナ禍ということもあり、児童の教育活動が十分でない環境にありました。まだまだ注意は必要ではありますが、行事等の持ち方を工夫して、児童がともに関わりを持ち、楽しいと思える学校づくりをしていきます。
2 学校は保護者・地域と連携し開かれた学校をつくっている。		2.9	ホームページや「スクリレ」等を活用し、学校の様子や重要なお知らせを随時発信していきます。PTA作業等の参加率も高く、学校への関心も高まってきています。今後とも、学校との連携・協力を宜しくお願いします。
3 学校は児童理解に努め、思いやりと温かさのある指導を行っている。		3.1	日々、生徒指導や教育相談の充実に取り組んでいるところです。教育委員会と連携し、いじめの早期発見・早期解決心がけています。今後とも子どもたちの心に寄り添った指導をしていきます。
4 お子さんは当該学年の学習内容が定着している。(確かな学力の向上)		3.1	児童の学力の向上に必要な自己肯定感の高まりを目指し、校内研修を通して全教職員体制で取り組んでいます。基礎的・基本的な学習内容を重視し、学力調査対策も実施していきます。
5 お子さんは家庭学習が習慣化している。(確かな学力の向上)		3.2	本校では、自学ノートや授業と連動した宿題に取り組んでいます。学校と家庭が連携し、お子様の家庭学習の定着をめざしていきます。引き続き宜しくお願いします。
6 お子さんは望ましい生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)が定着している。		2.9	アンケートの結果を見ると課題があることが分かります。のぞましい生活習慣の確立は、家庭においてお子様との共通理解が大切です。学校とも連携し、定着をめざして行きましょう。
7 お子さんは家でも読書をしている。		3.1	毎月第3日曜日の「家庭の日・ファミリー読書」を活用し、ご家庭でお子さんと一緒に読書を行う時間を確保して頂きたいと思います。学校では、図書館を中心に読書を読書を推進していきます。
8 お子さんは家や地域であいさつをしている。		3.2	児童会や生活委員会を中心に、定期的なあいさつ運動に取り組んでいます。あいさつをしっかりと返せる児童が多いですが、自ら進んであいさつができるように家庭での声かけをお願いします。
9 お子さんは身の回りの整理整頓ができています。		2.8	身の回りの整理整頓をしっかりと行うことで、学習に集中する力や気持ちの良い生活を送ることができます。日々の生活習慣が基本となりますので、これからも継続してお声かけをお願いします。
10 お子さんは好き嫌いせず食べる習慣ができています。		2.8	食事は生きる上で最も大切な営みとなります。正しい食習慣の形成、食の楽しさなど、栄養教諭や担任と連携し、健全な食生活が実践できるよう子の育成を図ります。
11 お子さんは安全な行動が身についている。(日常の行動・交通安全・不審者対応・避難訓練等を通して)		3.1	日頃から「いかにおすし・おかしもち」の指導をはじめ、自分の生命は自分で守るという指導を発達段階に応じて指導しています。また、不審者訓練や避難訓練等を通して緊急時の対応の仕方についても学んでいます。家庭に対しては、「スクリレ」等を通じて情報発信をし連携していきます。
12 お子さんの前日の学習準備が習慣化し、忘れ物をほとんどしない。		3.1	学習用具を大切に、見藤氏を持って物事の準備をすることが学力向上をはじめ、リズムのある生活習慣の形成に大変重要です。保護者と学校が連携し、生活の基盤を強化していきましょう。
13 お子さんは将来の夢・希望を持っている。		2.8	お昼の校内放送を活用し、児童や先生方の「夢紹介」を行い、将来への興味・関心を高め、児童のキャリア発達を促す取組を行っています。お子様の「なりたい自分・なれる自分」の取組を通して、保護者・学校が連携して夢の実現に向けてサポートしていきましょう。
14 目指す家庭像を実現できるようつとめている。		3.0	あいさつをする、時間を守る、身の回りのお片付けをする等、基本的な生活習慣の確立は、時と場合に応じて適切な人間性を育む上で大切な土台となります。お子様の成長のためにご家庭での取組もご協力をお願いします。
15 古蔵小は、お子さんを通わせたい学校になっている。		3.2	生命を大切に、安心安全で過ごせる学校、一人一人の個性を大切に世話になっています。大切に、学が楽しさや自己肯定感の向上のために、学校・家庭・地域が連携した取組をしていきます。